

じっくり遊ぶ楽しさ、友達と一緒に楽しむ楽しさ

プロジェクト名	大きいりす4月		
日付	2024年 4月 17日	記録者名	日熊
園児			
本日のねらい・内容	先日、太鼓のバチを2本手に持ち包丁と長い野菜？のようなものに見立てて切る真似をして遊んでいる子どもを見て、そんな遊びがじっくりできるアイデアはないかな？と思っていたところ、他クラスの職員からヒントになるような本を貸してもらいました。		



これはペットボトルのふたにマグネットを忍ばせ、フェルトで包んだもの。それを2つつけておもちゃの包丁で切る、というもの。喜んでくれるかな？と試作品を作ってみました。



すると、ビンゴ！！喜んで何度も切って遊びます。しかし、中に入れたマグネットがあまりにも強力すぎて切っても切ってもくっつきます。なんなら、包丁が間に入ってもお互いの磁気が強くくっついている状態。これでは飽きてしまいそうだと思います、たくさんのキャップを持ってきて再度作ってみました。



側で見ていた子が、たくさんのキャップを色々なペットボトルにはめ始めました。「あわんね。これかなあ。」と全部同じもので揃えるのもいいですが、こうやってあえて同じでないものも混ぜておくと、子ども達が自分で試行錯誤する力にも繋がります。



すると今度は、たくさんのキャップを集め始め、大きな容器に移します。沢山持っている友達が欲しくて取ろうとすることもありますが、少人数でゆったりとした中で、「かして。」「ちょうだい。」などのやり取りを丁寧に行い、友達とのコミュニケーションの取り方を学んでいます。

成長の視点	
今後の展開	